

高知県新しい公共支援基金事業の体系

事業の概要

県民の積極的な「公」への参加による、公的サービスの効率的な供給に向け、NPO等が自ら資金調達し、自立的に活動することが可能となるよう、環境整備を進める。

(事業実施期間:平成23年度～平成24年度) (基金造成額:131,000千円)

社会情勢

- 公共サービスに対するニーズの多様化、複雑化
- 行政だけでは解決困難な地域課題の増加

*新・高知県行政改革プランで、官民協働型の県政推進を掲げている

NPOのニーズ

- 人の役に立ちたい
- 資金を借りたい
- 寄附を集めたい
- 仲間を増やしたい
- 金融機関や行政にも信用してもらいたい

県民・民間事業者等のニーズ

- 地域の役に立ちたい
- 地域の人々の輪の中に入っていきたい
- 頑張っている地域の人達のために、お金を使いたい
- せっかくのお金を、地域のみんなのために役立てたい

国

交付金

高知県
(基金)

県民・民間事業者等

支援事業運営委員会
(県民・NPO・企業等)
《事業の選定》

寄附

基金事業内容

1. NPO活動ステップアップ支援
(財務諸表の作成指導、専門家による個別指導等)
2. NPO寄附募集支援
(寄附集めのノウハウ提供、実務者による指導等)
3. NPO受託事業活動資金利子補給金
(つなぎ融資を受けるNPO等に対する利子を一部補助)
4. NPOと行政との協働によるモデル事業への財政支援

活動NPO等の自立的な後押し

地域のNPO等

事業効果

◆新しい公共の担い手の育成

◆地域における雇用や参加の場の拡大

◆寄附文化の発展・定着



「新しい公共」の定着

※「新しい公共」とは・・・「官」だけではなく、市民の参加と選択のもとで、NPOや企業等が積極的に公共的な財・サービスの提案及び提供主体となり、医療・福祉、教育、子育て、まちづくり等の身近な分野において共助の精神で行う仕組み、体制、活動など。